

鹿大生パイロット養成講座

模擬飛行操縦に挑戦

第2期生8人が修了

鹿児島大学と日本エアコ成事業「スカイキャンプ」
ミューター（JAC、霧島の第2期生が4日、2週間
市）、日本航空が連携し昨のプログラムを終えた。書
春初開講したパイロット養類審査や適性検査を終た3



シミュレーターに乗り込み、指導を受ける学生（左）

＝霧島市溝辺

年生8人が、鹿児島空港周
辺施設でシミュレーター操
縦などを体験。うち2人が
来春からライセンス取得訓
練に進む。

1日はJAC施設内の仏
・ATR機シミュレーター
に交代で乗り込み、模擬飛
行に挑んだ。鹿児島空港を
離陸し、桜島も望むリアル
な映像の中、現役機長らの
指導を受けながら旋回や上
昇、下降を試みた。

工学部の芝幸祐さんは
「パイロットは単に憧れの
存在だったが、離島を結ぶ
地域の翼を支えたいと思っ
ようになった」。法文学部の
東郷茉央さんは「管制官や
整備士なども含むチームワ
ークで動いていることが印
象に残った」と話し、航空
業界へ意欲をのぞかせた。

来年度半ばをめどに2人
が選ばれ、連携3者の支援
の下、来春から熊本の高城
大学で2年間の訓練を受
け、JACに入社。202
6年春にも副操縦士とな
る。

（門田夫佐子）